

ライフスタイルを楽しむ女性に寄り添う

日刊自動車新聞

新世代感覚ワゴン

ムーヴ

AFS、パノラマモニターを初採用

キャンバス DEBUT! MOVE canbus

荷物を積んで

すぐに乗り込める

GOOD! 置きラクレイアウト

ダイハツ 新型ムーヴキャンバス 特集号

発行所 日刊自動車新聞社 東京都港区芝大門1丁目10番11号 芝大門センタービル3階 電話 東京 (03) 5777-2351代表

軽自動車の販売比率が高まり、小型/普通車のミニバンなどから代替えるユーザーも増えて、軽自動車に求められるニーズが広がっている。そこで登場したのがムーヴキャンバスだ。後席ドアはタントと同様のスライド式だが、全高は1655mmだからタントに比べて95mm低い。ムーヴよりも25mm高い程度に抑えた。外観は丸みのあるヘッドランプを装着するなど柔和な印象で、オシャレな2トーンのストライプカラーも選べる。ターゲットとするユーザーはライフスタイルを楽しむ女性とされるが、シックな色彩も用意したので個性を大切にしたい男性にも似合うだろう。後席の下には便利な収納設備の「置きラクボックス」を装着した。スライドドアを開いて荷物を置きラクボックスに簡単に収納し、運転席にスムーズに乗車できる「置きラクレイアウト」を楽しめることも魅力だ。

置きラクボックス

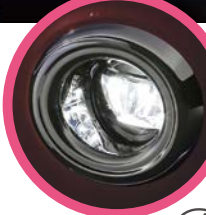
IDEA

毎日うれしい低燃費



ストライプカラーとメイクアップグレード

ムーヴキャンバスはボディカラーが豊富で、モントーンが9色、ストライプカラーが8色用意される。後者は2トーンだが、一般的なルーフとボディを色分けするパターンではない。ルーフ、フェンダーやドアの上端とボンネット、さらにボディの下まわりが同色になり、ボディ中央部のベースカラーを挟む色分けにした。そのためにストライプカラーと呼びわけだ。そしてXとGにはメイクアップグレードを設定する。外観ではメッキのバンパー&サイドモール、LEDフォグランプが備わり、2トーンカラーフルホイールキャップも装着した。内装はボディカラーに応じてマイルドモカ/ファインミント/ミストピンクが用意され、装飾類も充実する。サイドエアバッグが装着されることもメイクアップグレードの特徴だ。



LEDフォグランプ(メッキリング付)



●モントーンカラー全9色



移動をイメージしたデザインステキ MOVE canbus



●ストライプカラー全8色

遊び心のあるホワイトライン5車種

シックで大人のぽく上質感あふれるグレーライン3車種

オプションでよりオシャレに

オプションパーツが豊富なこともムーヴキャンバスのメリットだ。カーナビはディーラーオプションから選び、パノラマモニター対応純正ナビ装着用アップグレードパックを備えると、カーナビ画面にパノラマモニターを表示できる。ディーラーオプションのカーナビには、インチと大画面の8インチを用意した。ブラックインテリアパックでは、内装がブラックに仕上げられて車内をスポーティな雰囲気仕上げる。男性ユーザーにも似合うだろう。ムーヴキャンバスらしい装備としては「簡単脱着&洗えるシートクロス」がある。シートのパターンにはストライプ/チェック/シンデレラ/ブラウンディズニーの4種類を設け、簡単に脱着できて手洗いの洗濯も可能だ。ユーザーの好みに応じて、一層オシャレに演出できる。

16cmリアスピーカー&ツイーター



オーディオパネル(シルキーホワイト/シルバー加飾リング) ステアリングスイッチ



\*燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や、運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ※エコカー減税(環境対応車普及促進税制)の適用車は、ご購入時に自動車取得税及び自動車重量税の軽減措置が受けられます。詳しくは販売会社におたずねください。



# 安全な車に乗りたい!



スマートアシストIIイメージカット



SRSエアバック



パノラマ機能 リアワイドビュー



パノラマ機能 トップ&リアビュー

## AFS(ステアリング連動ヘッドランプ)とスマアシII

安全性を高める装備として、軽自動車では初採用のAFS(ステアリング連動ヘッドランプ)に注目したい。ステアリング操作に応じて、ヘッドランプの照射方向を左右に調節するものだ。時速5km以上、ステアリング切り角20度以上で作動する。ヘッドランプが進行方向に向けて照射されるため、夜間でも良好な視界が得られて安全性を高める。特にボディの小さな軽自動車は街中で使われることが多く、曲がりくねった裏道を走る機会もあるだろう。AFSは軽自動車に適した装備だ。またAFSはひとつの光源でハイ/ロービームを兼用するバイアングルLEDヘッドランプとセットでGに標準装着される。人気の安全装備とされるスマートアシストIIは、すべてのグレードに用意した。赤外線レーザーと単眼カメラを併用して、車両や歩行者と衝突する危険が生じると警報を発する。ドライバーが回避操作をしない場合、相手方が車両であれば緊急自動ブレーキを作動することも可能だ。車線の逸脱も警報する。また誤発進抑制制御機能で、建物などに向かってアクセルペダルを踏み込んだ時、エンジン出力を自動的に絞る機能も備わる。

### ぐるりが見える安心感ーパノラマモニター

安全性と使い勝手を向上させる装備として、メーカーオプションのパノラマモニターに注目したい。ボディの前後左右にカメラを装着し、そのデータを合成することで、車両を上空から見たような映像としてナビ画面に表示する。車両の周囲がひとめで分かるため、車庫入れや縦列駐車をする時の安心感が高い。また車両の前方のみを映すフロントワイドビュー、後方のみをリアワイドビュー、死角に入る前輪付近を映すレフト/ライトサイドビューの切り替えも可能だ。見通しの悪い小さな交差点を通過する時などは、フロントワイドビューにすると、ドライバーの死角に入る左右方向から接近する車両や自転車が見えやすくなる。状況に応じて使うと安全性を高められる。

### パワフルなのに低燃費(エコカー減税対象車)

エンジン、プラットフォーム、サスペンションといった基本機能は、ムーヴやキャストが採用する最新のタイプを使って開発された。前後にスタビライザー(ボディの傾きを制御するパーツ)を備えたDサスペンションを装着し、ボディの底面に位置する基本骨格に補強も施した。これらの相乗効果で、走行安定性と乗り心地のバランスが高められている。また電動パワーステアリングの操舵力を最適化することで、市街地走行や駐車場での取りまわし性も向上させた。燃費が優れ、2WDモデルのJC08モード燃費は28.6km/ℓに達する。燃焼効率を高め、樹脂化ボディで軽量化も図った。さらに空力パーツで空気抵抗を減らすなど、総合力で燃料消費量を抑えている。エコカー減税についても、2WDは購入時に納める自動車取得税と同重量税が免税になる。4WDもエコカー減税の対象に入るので、購入時の費用を節約しやすい。



衝突安全ボディ(TAF(タフ))

# carbus MOVE

見栄えがオシャレで、なおかつ日常的に便利に使えるように配慮されている!

## 愛らしいエクステリア



ムーヴキャンパスで注目されるのは、柔和で愛らしい外観のデザインだ。ヘッドランプやラジエターグリルの開口部に丸みを持たせ、リアゲートに緩やかな傾斜を付けた。広い居住空間と荷室を備えた実用的な軽自動車でありながら、外観に潤いを与えている。見る人を笑顔にさせ、スマートフォンなどで気軽に写真を撮りたくなるようなデザインに仕上げた。全高は1655mmだから、スライドドアを装着した軽自動車の中では最も背が低い。この適度な全高も愛らしさの秘訣だろう。天井が低い分だけ洗車がしやすい。またウィンドーの面積が広い水平基調のボディだから、視界が優れ、四隅の位置も分かりやすい。最小回転半径が4.4mに収まる良好な小回り性能と相まって、狭い裏道や駐車場でも運転しやすい。



X\*メイクアップSA II\*

置きラクボックス バasketモード

## MOVE carbus DEBUT! 自身のライフスタイルを楽しむ女性に寄り添う新感覚スタイルワゴン

ラクラク両側スライドドア



Engineer's Voice

ダイハツ工業 製品企画部主査 大澤秀彰さん



パワースライドドア 大容量深底ラゲージアンダーボックス



乗り込むまでの動作を最小限に抑えられる GOOD!

### スライドドアの新発想レイアウト

ムーヴキャンパスは、全高が1700mmを下回る軽自動車では、唯一両側にスライドドアを装着する。この装備に置きラクボックスを組み合わせて、荷物を収納する時の使い勝手を向上させる置きラクレイアウトを実現できた。XリミテッドSA II以上のグレードには、両側のスライドドアに電動開閉機能が備わり、キーフリーシステムも装着される。ドアノブのスイッチを押せばスライドドアが開くから、後席に荷物を置いて最小限の動作で運転席に乗り込める。リアゲートを開いて荷物を積む手間も解消した。そして床が低めだから置きラクボックスに荷物を収めやすく、乗降時の腰の移動量も少ない。基本的なレイアウトを成熟したことも、置きラクレイアウトの利便性を向上させた。



### 心地よい室内



G\*メイクアップSA II\*



置きラクボックス ケースモード

### 「置きラクボックス」と快適装備

ムーヴキャンパスで注目される装備が置きラクボックスだ。後席の下側に左右独立して装着された引き出し式の収納設備で、長さが317mm、幅は272mm、高さは30mm。折り畳み式の傘や小物類を収納しやすい。また置きラクボックスの底面に装着されたクーティリティボックスを持ち上げると、ボックスの周囲に高さ130mmの仕切りができるから、バスケットなどを置いて倒れにくい。食品など床に置きたくない荷物の置き場所に最適だ。豊富な快適装備にも注目したい。電動スライドドアには予約ロック機能が備わっているから、閉めた後のドアロックまで自動的に行える。GにはUV(紫外線)に加えてIR(赤外線)をカットするガラスを採用。日焼けの防止と併せて車内温度の上昇も抑えられる。(※L SA II、Lを除く全車に標準装備)



見えるエコで効果を実感するセンターメーター(右はG\*SA II\*に装備の3眼センターメーター)

### ナチュラルなインテリア

タントより背が低いといっても、全高が1600mmを超えるから車内は広い。前後席とも頭上と足元に余裕があり、大人4名が快適に乗車できる。後席には240mmのロングスライド機能が備わり、後席にチャイルドシートを装着した時は前倒しできる。運転席に座る親が子供のケアをしやすく、荷室も広がって荷物を収納しやすい。そして内装はナチュラルなデザイン。メーターはインパネの中央に装着されて視認性が優れ、下側のダッシュボードには丸みがあって外観と同様に優しい印象だ。シートはスッキリしたデザインで馴染みやすく、長く使っても飽きがこない。

①インパネトレイ(助手席) ②ファンブッシュ式オートオープンカップホルダー(前席) ③リアシート分割ロングスライド